

原因多くは耳の障害

病院の実力

～神奈川県編 215

今回の病院の実力は「めまい」を取り上げる。原因の多くは耳にあるとされ、三平規管などバランスをつかさどる器官の障害で起こりやすい。一覧表では、2024年の新規患者数と、このうち良性発作性頭位めまい症(BPPV)耳石置換法の実施率

めまい

V)、メニエール病のそれぞれの患者数や、BPPVに有効な理学療法である耳石置換法の実施率、めまい相談医がいるかどうかを紹介した。

めまいを引き起こす耳鼻喉科疾患で最も多いBPPVは、内耳の前庭にある耳石器から、カルシウムでできた「耳石」がはがれて三平規管に入り込むために起こる。頭を動かして耳石を元に戻す理学療法で治療する医療機関が増えているが、時間と手間がかかることから、実施率が低い施設もある。

内耳がむくんで起こるメニエール病は、利尿剤などの投薬治療や、十分な睡眠や適度な運動などの生活指導も重要だ。新しい治療法として「中耳加圧療法」が18年、公的医療保険の対象となったが、専ら機器の導入に必要なため十分に普及していない。

このほか、ウイルスが原因とされる「前庭神経炎」や、めまいを伴った前庭性片頭痛などもある。個別の治療とは別に、体のバランスを補正する小脳の動きを鍛えるめまいリハビリ

も有効とされる。めまいは脳梗塞など脳の病気で発症することがある。受診したい。

まひやしびれなどの症状がある場合は、様子を見ず早期に受診したい。

リハビリ運動根気強く



横浜市立みなと赤十字病院
新井 基洋 めまい・平衡神経科部長

めまい症状の多くは、平衡機能を支える左右の耳の奥にある三平規管の一方の機能が低下し、左右差が生じることが原因となる。当院では、平衡機能をつかさどる小脳を鍛えることで、この左右差を減らす「めまいリハビリ」を患者に教えている。具体的には、片腕を目の高さで前に伸ばし、親指を上に向けて、首を左右に振りながら親指を見つめ続ける動作を20回行うなど数種のリハビリを、1回7分以内で行う。左右差があると、左右どちらかの目が親指を見つめる時に視線が外れてしまうが、繰り返すことで改善される。

これらのリハビリを行うことで、小脳と平衡機能を支える目、三平規管、足裏の神経のつながりを改善し、薬で改善しないめまいなどに効果が

病院の実力「めまい」 医療機関別2024年治療実績

(読売新聞調べ)

医療機関名	新規患者数	めまい相談医 良性発作性頭位 めまい症 (人)	メニエール病 (人)	めまい相談医		耳石置換法の実施率 ○●在籍
				○	●	
なかむら耳鼻咽喉科	1304	478	42	○	○	4
湘南藤沢徳洲会	1101	27	105	○	○	1
横浜市立みなと赤十字	955	450	150	○	○	4
北里大	702	34	183	○	○	5
新百合ヶ丘総合	699	8	142	○	○	2
大和市局	648	76	99	○	○	1
湘南鎌倉総合	597	118	72	○	○	1
茅ヶ崎市立	508	47	65	○	○	1
横浜市立臨空・神経音聴	469	213	25	○	○	4
聖マリアンナ医科大学横浜西部	425	178	32	○	○	2
東海大	293	42	44	○	○	4
ふじさわ阪とからだのク	275	201	11	○	○	1
昭和医大藤が丘	242	56	79	○	○	1
関根耳鼻咽喉科医院	200	70	30	○	○	2
横須賀市立総合医療セ	155	50	81	○	○	1
聖マリアンナ医大	150	35	40	○	○	2
美しが丘さかとう耳鼻咽喉科	147	80	25	○	○	1
藤沢市民	120	25	10	○	○	1
横浜労災	80	15	1	○	○	1
しらと台耳鼻咽喉科	74	40	3	○	○	1
済生会横浜市東部	60	40	2	○	○	1
横浜市大病院	60	25	15	○	○	1
昭和医大横浜西部	15	4	0	○	○	5
ゆめが丘みかみ耳鼻咽喉科	—	—	—	○	○	5

「セ」はセンター、「ク」はクリニック、「—」は無回答または不明
◆の1=25%以下、2=26%～50%、3=51%～75%、4=76%以上、5=不明

全国の調査結果は19日の「からだ」面に掲載しました。